

拓け!!光の一路

第四十二回上郡中学校卒業式



円心くんの まちの話題

三月十三日(水)上郡中学校で第四十二回卒業証書授与式が行なわれ、男子百三十三名女子百十六名の合計二百四十九名に卒業証書が手



卒業おめでとう!!

わたされました。式典では、厳肅な雰囲気の中、学校長から一人ひとり全員に卒業証書が手渡されました。引き続き各来賓からお祝いの言葉が述べられました。在校生からの送辞が贈られ、卒業生代表により中学校時代の思い出や、先生・保護者への感謝の思いを込めた答辞が読まれると、感動につつまれた会場のあちらこちらにハンカチで目頭を押さえる様子が見



笑顔で卒業しまーす!!

られました。式典後、卒業生はブラッパンの演奏の中、中学校校門まで先生や在校生などに見送られました。式典では涙を見せた生徒たちも、満面の笑顔で三年間過ごした学び舎を卒業していきました。

災害時、日ごろの訓練が大切です

ハイツ・カメラリアで防災訓練

三月十日(日)町営住宅ハイツ・カメラリアで、赤穂市消防署上郡分署、同署新都市分署及び上郡町消防団などによる火災発生時の訓練が行

われました。訓練は、八階建の住宅の五階付近から火災が発生したという想定で行われました。訓練には四月から入居

予定の皆さんも大勢参加されていました。消火器による初期消火の訓練や、避難誘導訓練の他、はしご車による八階からの救助訓練等もあり、参加された皆さんは、緊張した表情で取り組まれていました。



はしご車による救助訓練

「千種川流域まちづくりフォーラム」を開催

三月十日(日)JA兵庫西佐用支店において、「千種川流域まちづくりフォーラム」が開催されました。これは、



千種川について意見を話す上郡町長

千種川流域の五町(佐用郡四町と上郡町)で組織される千種川流域(赤佐)まちづくり協議会の主催で行われたものです。フォーラムでは、千種川を軸にした広域的なまちづくりについてパネルディスカッションが行われ積極的に意見が交わされました。また、フォーラムの終わりには、今後のまちづくりの指針となる「ちくさがわ清流文化圏宣言」が採択されました。

上郡さくら園一般開放

四月六日(土)、七日(日)、十三日(土)、十四日(日)の四日間上郡さくら園の一般開放が行われました。さくら園は、新たな桜の名所を目指して整備されたもので、十種類約千二百本の桜が植えられています。平成十一・十二年度には植樹会を催し一般の方も桜を植樹されました。今回の一般開放では、植樹会に参加された方を中心に、家族連れなどが訪れ、自分たちの植えた桜の成長ぶりに目を細めていました。今年



「大きくなったねえ!!」

目は細めていました。今年には樹齢が若く、又、開花の時期が早かったため、花見はほとんどできまじりませんが、数年後には新たな桜の名所として訪れる人の目を楽しませることでしよう。

高校生とお年寄りとの交流会

三月十三日(水)、上郡高等学校の農業クラブと家庭クラブの生徒十六名が特別養護老人ホームほうらいの里を訪れ、入所されている方々と交流を深めました。

ハンドベルの演奏を披露したりするなど、楽しい時間を過ごしました。



一緒に小物入れを作っています

生徒たちは、お年寄りの皆さんと一緒に談笑しながら、小物入れを作ったり、

PTA活動に尽力

二月二十二日(金)新神戸オリエンタルホテルで、増井浄見さん(栗原)と、竹内弘光さん(船坂)に、兵庫県PTA協議会から感謝の記念楯が贈られました。

元赤穂郡連合PTA会長の増井さんは、その他にも上郡高等学校・上郡中学校

などでそれぞれ会長を務められました。現上郡中学校PTA会長の竹内さんは、これまで赤穂郡連合PTA会長なども務められるなどPTA活動に尽力されてきた事に対して感謝が表されたものです。

また、同日、赤松小学校PTAも兵庫県教育長表彰を受けられました。

ご相談受け付けます～障害者福祉相談を始めます～

心身に障害を持たれている本人や家族の方で、困っていることや知りたいことはありませんか? この度、障害者の身近な相談窓口を増やしてほしいとの声にお答えして、新たに社会福祉士等による障害者福祉相談を始めます。秘密は必ず守りますので、悩みを一人や家族だけでしまいこんでおかず、ぜひ相談におこください。

日時 5月1日(水)、5月15日(水)
(毎月第1・3水曜日) 13時~16時
場所 上郡町役場202会議室(2階・健康福祉課横)
相談員 社会福祉士等
費用 無料 ※事前に予約が必要です。
お問い合わせ・申し込み先
上郡町障害者支援センター ☎57-2233
上郡町健康福祉課 ☎52-1114

全盲のバリトン歌手

時田直也コンサート

三月十七日(日)、障害者に対する地域での理解を深めるためのイベントとして、上郡町と上郡町障害者問題懇話会の主催により、バリトン歌手時田直也さんのコンサートが開催されました。時田さんは、生後半年で未熟児網膜症と診断され、生まれてからずっと「見る」という経験がありません。時田さんの経験したお話や、ピアノの弾き語りによる「早春賦」「月の砂漠」などのすばらしい歌声に、来場した約二百五十人の観客の皆さんは静かに聴き入っていました。



ピアノの弾き語りをする時田さん